

平成 30 年度

新発田市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

平成30年度事業報告書

概要

当協議会の5つの基本理念（市民ニーズ基本の原則・市民活動主体の原則・民間性の原則・公私協働の原則・専門性の原則）に基づき、平成30年度重点事項として取り組んだ5項目の内容について報告いたします。

① 少子高齢化や障がい者に対応した地域での支え合いづくり

見守り・支え合い推進事業

引き続き「地域みまもり隊」活動の推進を行いました。平成30年度では、地域の活動として自治会・町内会単位や学校での取り組みなど、見守り支え合いの活動が広がっています。

福祉出前講座事業

小学校及び中学校の校長会や、自治会・町内会等に福祉教育に関する周知に努めた結果、福祉関係機関と連携し、学校や地域での福祉に触れる機会を増やすことができました。

放課後等デイサービス事業

複合型福祉施設「ほのぼの家族」において、障がい児が放課後や夏休みなどの長期休暇時に安心して過ごすことのできる場を提供しました。

② 健やかな子育てと若者世代への支援

福祉教育推進事業（ふれ愛ワークキャンプ・Summer 倶楽部ふくし・ふくし出前講座）

ふれ愛ワークキャンプでは、小学校4・5・6年生及び中学生の夏休みに1泊2日の体験キャンプを実施し、障がい者との直接のふれあい等をつうじて、福祉について学ぶ機会を提供しました。

Summer 倶楽部ふくしでは、中学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生を対象に夏休みを活用し福祉体験講座を実施しました。

若者自立支援事業

様々な理由から生きづらさを抱える若者が、安心して「思い」や「情報」を共有し不安の解消や、社会につながるための第一歩となる居場所の運営を行いました。また、その親の不安解消や親同士の交流等を目的に親のサロンも併せて開催し、総合的な不安の解消につとめました。

子育て支援センター（ベビープログラム、・出張ほのぼの家族）

複合型福祉施設「ほのぼの家族」において、子育て支援センターを開設し、子育て中の家族の支援として、プレイルームの開設や一時預かり、保育士による育児相談等行いました。また、初めて母親になる方の悩みの解消や孤立の解消等を目的とした「ベビープログラム」事業についても年4回実施しました。

③ 住民主体による健康増進や介護予防活動の推進

ふれあい・いきいきサロン事業

在宅高齢者の社会的孤立の解消や生きがいづくり、閉じこもり防止、健康の維持向上等を図ることを目的に、地域のボランティアが主体となって行うサロン活動について、設立や活動維持の支援を行いました。また、市の行う介護予防事業「ときめき週1クラブ」についても連携して高齢者の健康の維持向上に努めました。

中央地域包括支援センター運営事業

認知症サポーター養成講座を積極的に実施し、1,027名を養成し認知症の理解・介護予防を啓発しました。ときめき週1クラブの立ち上げ支援や総合相談時に地域のサロンなどの地域資源を紹介し介護予防に結びました。自立支援を目的に介護保険サービスにこだわらない個別性のあるケアプラン作りに努め、圏域の居宅支援事業所にも助言指導を実施しました。

介護保険事業

生活機能の維持・向上を図るため、運動機能向上や認知機能低下予防など本人、家族、担当ケアマネジャーと連携して計画を作成し介護サービスを提供しました。常にその人らしい自立支援に着目したサービスに取り組みました。

④ 地域での防災・防犯力の強化や避難行動要支援者への支援

災害に備えた体制整備

平成30年度では、五十公野地区で、災害時の行動や、地域での助け合いの大切さについて理解を深めることを目的に、地域連携防災訓練を行いました。また、災害時の重要性・期待が高まっている災害ボランティア活動について、理解を深め安心安全のまちづくりに積極的に参画していただくことを目的に初級及び中級の災害ボランティア研修を実施しました。初級の講座については参加者の固定化の解消とより多くの市民の方に災害ボランティアの活動を理解してもらうことを目的に、フォーラム形式の講座とし多くの方の参加をいただきました。

⑤ 利用者のニーズに応じた福祉サービスの量と質の確保

総合相談事業

社会福祉士を中心とした地区担当制を構築し、あらゆる生活課題の支援に向けての相談を受け付けました。また、市内17地区に対して引き続き担当職員を配置し、地域からの相談の窓口とし、地域ニーズを的確に把握し支援を行いました。

また、高齢者とその家族を対象とした「安心相談会」と空家予防事業による「暮らしと住まいのふくし相談会」をそれぞれ2回開催し、個々の不安の解消に努めました。

成年後見支援事業

相談窓口（成年後見センター）を設置し、一般の相談を受け付けるとともに、地域や企業からの要請による勉強会や、包括支援センター等関係機関との連携を行いながら制度の周知、活用に努めました。

法人後見事業については、平成30年度には3件の受任がありました。また、受任に係る業務や相談対応等の職員研修を行い、適切な運用に努めました。

新規 孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業の実施

平成30年度から中央共同募金会の助成を受けて、高齢者の社会的孤立の予防・解消を目指し、社会的孤立からそれまで住んでいた住居が空家に至る過程を連続的にとらえ、つながりの再構築から終末期であってもその人の尊厳が守られたくらしの実現を目指し各種士業団体、医療関係、建築関係、ふくしの関係機関や団体、そして行政等によるネットワークを構築し協議及び検討を行いました。

次に主な事業の実績について報告いたします。

※以後ページ数のみ記載

1 法人運営事業

〈資料2 平成30年度決算書 P1に掲載〉

市並びに関係各機関との連携のもと、民間福祉活動の重要性について市民の理解を深め、市民ニーズに適応した社協活動の推進と関連団体等の活動支援に努めました。

(1) 理事会、監事会及び評議員会の開催（会場 ボランティアセンター）

本会の組織、事業、財政等の適正な運営を図り、総合的な企画や調整等を行うため、理事会、監事会及び評議員会を開催しました。

- 理事会 3回開催

第1回	平成30年	5月30日（水）
第2回	平成30年	11月30日（金）
第3回	平成31年	3月15日（金）

- 評議員会 3回開催

第1回	平成30年	12月11日（火）
第2回	平成30年	11月8日（水）
第3回	平成31年	3月26日（火）

- 監事会 1回開催

第1回	平成30年	5月21日（月）
-----	-------	----------

(2) 新発田市社会福祉協議会会員の拡充と会費の確保

社会福祉協議会・社会福祉協議会のを行っている福祉事業等に対する市民の理解を深めるため、自治会の総会や、事業等で地域に出向いた際に会費を活用した地域活動助成について説明等行ってきましたが、平成30年度においては世帯数の減少に伴い会費についても減少となっています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
加入世帯（世帯）	28,348	28,910	28,253
会費（円）	8,950,663	8,833,462	8,717,906

(3) 職員研修の充実

職員の専門知識・技術を高めるため、職員研修の充実に努めました。

※本資料41ページ「平成30年度職員研修会等参加状況」を参照

2 総合的事業

(新規) 孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業

平成 30 年度から中央共同募金会の助成を受けて、高齢者の社会的孤立の予防・解消を目指し、社会的孤立からそれまで住んでいた住居が空家に至る過程を連続的にとらえ、つながりの再構築から終末期であってもその人の尊厳が守られたくらしの実現を目指し各種士業団体、医療関係、建築関係、ふくしの関係機関や団体、そして行政等によるネットワークを構築し協議及び検討を行いました。

孤立化による空家の予防連絡会議の開催

構成員 弁護士、司法書士、税理士、行政書士、宅地建物取引業協会
市青年会議所、市老人クラブ連合会、県新発田地域振興局
下越地域若者サポートステーション、新潟県社会福祉協議会
医師会、歯科医師会、市自治会連合会
市民生委員児童委員連合会、市建築課
市地域在宅医療・介護連携推進センター、地域包括支援センター
新発田地区居宅介護支援事業者連絡会、市社会福祉事務所

関係機関 市社会福祉課、市高齢福祉課

アドバイザー 立正大学社会福祉学部社会福祉学科 専任講師 川本 健太郎 氏
長尾クリニック院長/日本尊厳死協会副理事長 長尾 和宏 氏

主な実施事業

市民向けセミナー「穏やかな最期を迎えるための地域の条件」

日 時：平成 30 年 8 月 10 日（金）14：00～16：00
会 場：生涯学習センター 講堂・研修室
題 目：「穏やかな最期を迎えるための地域の条件」
講 師：長尾クリニック院長 長尾 和宏 氏
参加者：377 名

第 1 回 孤立化による空家の予防連絡会議

日 時：平成 30 年 11 月 8 日（木）15：30～17：00
会 場：ボランティアセンター

第 1 回 「暮らし」と「住まい」のふくし相談会

日 時：平成 30 年 11 月 25 日（日）10：00～16：00
会 場：ボランティアセンター
件 数：21 件

第 2 回 「暮らし」と「住まい」のふくし相談会

日 時：平成 31 年 3 月 17 日（日）10：00～16：00
会 場：ボランティアセンター
件 数：20 件

(1) 地区福祉活動計画事業

2期計画の推進に向けて引き続き地域との顔の見える関係を大切にしながら、それぞれの地区の実情に合わせた活動を行いました。また、策定後の振り返りと今後の活動について改めて地域で考える場としての懇談会の開催を推進しました。

①地区福祉活動計画推進連絡会議を開催しました。

- ・期 日 平成31年3月27日(水)
- ・会 場 地域交流センターあおり館1階 屋内広場
- ・参 加 16地区35人 ・市 3課7人・包括1人 ・社協5人 合計 48人

②地区担当職員を引き続き配置しました。

③社協会費を原資とした支援制度を実施し、各地区の計画推進を支援しました。

助成地区14地区 1,450,000円

④地区懇談会の開催 開催 6地区

⑤各地域包括支援センターが取り組む「地域ケア会議」に参加し、地域課題の解決に向けた支援をおこないました。

参加回数 17回

(2) 広報活動の推進 < P 67 >

市民に社会福祉協議会や福祉関係の最新の情報を提供するため、広報紙「しばた社協だより」(ボランティアだよりも併載)を中心に、社協独自のホームページ等を通じ広報に努めました。

- 「しばた社協だより」 毎月15日定期発行 計12回 (全世帯に配布)

(3) 援護事業

多様化する社会情勢の中、要保護世帯のニーズに対応するため民生委員児童委員の協力を得て、次の事業を行いました。

- 生活福祉資金の貸付事業(県社協の委託事業)
- 小口資金の貸付事業(自主事業) < P54 >

貸付件数等

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	件数等	金額	件数等	金額	件数等	金額
生活福祉資金貸付事業	8	1,867,000	16	3,752,580	5	709,000
小口資金貸付事業	51	1,213,000	70	1,698,000	64	1,523,000

(4) ボランティアセンターの管理運営 < P 138 >

ボランティアセンターを拠点に、市民各層が自主的で継続的なボランティア活動が可能となるよう、ボランティアセンターの効率的な利用を図るとともに、講習会や研修会を開催し、市民各層が幅広いボランティア活動に取り組まれるように努めました。

ボランティアセンターの利用状況

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
午前の利用者	11,838 人	13,782 人	11,703 人
午後の利用者	12,300 人	15,492 人	14,639 人
夜間の利用者	4,114 人	3,926 人	3,692 人
総合学習による利用	192 人	315 人	130 人
計	28,444 人	33,515 人	30,164 人

(5) 生活困窮者就労準備支援事業 〈 P19 〉

市の委託を受けて「生活困窮者就労準備支援事業」を実施し、さまざまな理由から就労に就くことが困難な方の就労準備についての支援を行いました。

平成 30 年度においては利用者が 11 名、このうち終了が 8 人となりました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	10 人	13 人	11 人
新規利用者数	7 人	10 人	6 人
終了者数	5 人	12 人	8 人

【セミナー・研修会】

①ひきこもり者の声との向き合い方勉強会

日 時 平成 30 年 8 月 2 日 14:00~16:00

会 場 ボランティアセンター

題 目 「ひきこもりの意味を問うーひきこもり者の声との向き合い方ー」

講 師 立正大学社会福祉学部社会福祉学科

准教授 関水 徹平 氏

こころのカウンセリングルーム スプーンフィールド

代 表 高橋 和枝 氏

コーディネーター 立正大学社会福祉学部社会福祉学科

専任講師 川本 健太郎 氏

オブザーバー 立正大学社会福祉学部社会福祉学科

教 授 金子 充 氏

参加者 31 人

②コミュニケーションセミナー

日 時 平成 31 年 2 月 8 日 10:00~11:30

会 場 ボランティアセンター

題 目 「若者のチカラが地域の活力に」

講 師 社会福祉法人藤里町社会福祉協議会

会長 菊池 まゆみ 氏

参会者 18 人

③ストレスケアセミナー

日 時 平成 31 年 2 月 27 日 10:00~11:30

会 場 ボランティアセンター

題 目 「楽しいこと連想ゲーム」

講 師 新発田市健康推進課

参会者 22 人

④仕事セミナー（職場見学ツアー）

日 時 平成 31 年 3 月 5 日 9 : 30 ~ 11 : 30
会 場 佐藤食品工業株式会社新発田工場
内 容 工場見学、事業説明
講 師 佐藤食品工業株式会社新発田工場業務品質管理課
課長 高橋 伸治 氏
参加者 20 人

⑤若者支援専門職研修会

日 時 平成 31 年 3 月 8 日 13 : 30 ~ 16 : 30
会 場 ボランティアセンター
講 義 「生きづらさを抱える世帯への包括的支援のあり方」
演 習 「社会的孤立との向き合い方、つながりの再構築に向けて」
講 師 認定特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス
代表理事 谷口 仁史 氏
アドバイザー 立正大学社会福祉学部社会福祉学科
専任講師 川本 健太郎 氏
参会者 40 人

⑥平成 30 年度若者就労支援サポート促進講演会

日 時 平成 31 年 3 月 9 日 10 : 00 ~ 12 : 00
会 場 地域交流センターあおり館
講 演 「どんな境遇の若者であっても共に寄り添う～希望ある未来に向けて」
講 師 認定特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス
代表理事 谷口 仁史 氏
鼎 談 「若者支援から広がる新発田のこれから」
登壇者 立正大学社会福祉学部
専任講師 川本 健太郎 氏
登壇者 認定特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス
代表理事 谷口 仁史 氏
登壇者 市内若者支援関係者
参加者 74 人

（6）日常生活自立支援事業 〈 P10 〉

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方々に自立した地域生活を送られるよう福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類の預かりなどの援助を行いました。

また、県社会福祉協議会から受託している広域での日常生活自立支援事業「基幹的社会福祉協議会」については、移管が全て完了しました。

● 相談件数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談件数	352 件	363 件	704 件

● 総契約件数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総契約件数	46 件	32 件	29 件

(7) 成年後見支援事業 〈 P23 〉

成年後見センターの運営

市の委託を受けて「成年後見センター」を運営し、市民の方や関係機関に向けて相談支援を行い、併せて制度に関する普及啓発のため研修会や出前講座、広報の発行を行いました。

相談件数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
新規相談件数	57 件	86 件	93 件
継続支援件数	100 件	319 件	652 件

- 成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会 6 回
- 成年後見制度に関する出前講座 5 回
- 成年後見制度に関する法律相談 3 回
- 成年後見セミナー「成年後見セミナー in しばた

～知って備える 使って安心 基礎から知る成年後見制度～

期 日 平成 31 年 2 月 23 日 (土) 14:00～15:45

会 場 地域交流センター あおり館

内 容 【1 部】 講演「基礎から知ろう！成年後見制度」

講師 はやし社会福祉士事務所 代表 林 正海 氏

【2 部】 事例紹介「事例から知る！成年後見制度」

コーディネーター：はやし社会福祉士事務所 代表 林 正海 氏

アドバイザー：波多野司法書士事務所 所長 波多野 雅造 氏

事例提供者：新発田中央地域包括支援センター 社会福祉士 後藤 圭一 氏

緑風園相談室 室長 坂井 隆一 氏

参加者数 82 名

法人後見事業

平成 28 年 10 月に家庭裁判所に法人後見人等の名簿登録を行い、法人として後見業務ができる体制を整備し、継続的・組織的な支援を必要とする方の相談対応を行い、今年度は 3 件を法人後見として受任しました。

相談件数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談受付件数	2 件	3 件	3 件
受任件数	0 件	2 件	3 件

- 法人後見運営委員会 開催 3 回

(8) 産学官民連携地域型「中間支援組織」の構築事業

市が進める「産学官民連携地域型中間支援組織」の構築事業については、地域住民の目線に立ちながら、そこに住む人たちが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、協力してきました。

- 総会
 - 日 時 平成 30 年 5 月 8 日 (火) 10:00~11:00
 - 会 場 ボランティアセンター 研修室
 - 出席者 委員 18 名 事務局 5 名
- 事務局会議
 - 日 時 平成 30 年 7 月 24 日 (木) 14:00~16:00
 - 会 場 ボランティアセンター ボランティアルーム
 - 出席者 事務局 4 名
- 理事会・幹事会合同会議
 - 日 時 平成 30 年 10 月 24 日 (水) 10:00~11:15
 - 会 場 ボランティアセンター 研修室
 - 出席者 委員 11 名 事務局 7 名

(9) ふくし教育の推進 < P76 >

平成 30 年度は年度当初に小学校及び中学校の校長会に福祉教育に関する資料(メニュー)を提出し、社協で行う福祉教育の周知に努めました。また、平成 25 年に発行した障がいのある人と出会ったときに自然に“はじめの一步”を踏み出すために必要な知識や情報を紹介する冊子「福祉にタッチ」について、情報を更新し、より使いやすくすることを目的に、関係団体から協力をいただき、改定版を発行しました。

- 福祉出前講座への講師派遣回数
 - ・小学校 (60 回) ・地域 (10 回) ・中学校 (10 回)
 - ・高校、大学 (6 回) ・その他 (6 回)
- 「ふくし出前講座」活用ガイダンス
 - ・対 象 小・中学校教員
 - ・期 日 平成 30 年 8 月 6 日

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者	-	6 人	6 人

- ふれ愛ワークキャンプ
 - ・対 象 小学 4・5・6 年生、中学生
 - ・期 日 平成 30 年 8 月 4 日~8 月 5 日

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者	17 人	25 人	17 人

- Summer 倶楽部ふくし
 - ・対 象 中学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生
 - ・期 日 平成 30 年 8 月 1 日~平成 30 年 8 月 29 日 全 8 回

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受講者	101 人	77 人	71 人

(10) 表彰事業 〈P1〉

従来の菅原ボランティア基金助成及び小嶋福祉賞基金顕彰においては、運用益を活用しながら事業を行ってきたが、金利の低迷により、運用益が見込めなくなったことから、当協議会が行う他の表彰事業と一体化し、功労のある方を表彰しました。

- ・日 時 : 平成30年12月1日(土) 9:30~10:15
- ・会 場 : 新発田地域交流センター
- ・参加者 : 社会福祉協議会理事、表彰選考委員、民生委員各地区会長
ボランティア連絡協議会長
- ・表彰者 民生委員児童委員功労 1名
社会福祉事業・ボランティア活動功労 個人10名 ・ 団体7団体

(11) 災害に備えた体制整備

● 災害ボランティア養成研修会の開催 〈P13〉

災害ボランティア活動は、ますます社会的期待が高まっています。そうしたことから、災害ボランティアの果たす役割や活動について理解を深め、防災意識の高揚をはかり、安心・安全のまちづくりに積極的に参加していただくことを目的として各種研修会を開催しました。

① 地域連携防災訓練(災害ボランティア研修会 初級編)

地域の行う防災訓練と連携し、行うことでより多くの方に防災や災害時のボランティア活動について考えるきっかけを作ることを目的として、初級研修を地域の行う防災訓練に合わせて行いました。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受講者	256人	456人	250人

・五十公野地区地域連携防災訓練(災害ボランティア研修会 初級編)

- ・期 日 平成30年10月21日(日)
- ・会 場 新発田市立東中学校
- ・参加者 250人
- ・講 師 新発田市地域安全課
- ・協力団体 新発田市・新発田広域消防本部・日赤安全奉仕団
陸上自衛隊第30普通科連隊・新発田市消防団第4分団第19部
新発田警察署五十公野駐在所・新発田南地域包括支援センター

② 「地域とつくる防災フォーラム」(災害ボランティア講座 初級編)

- ・期 日 平成30年9月30日(日)
- ・会 場 新発田地域交流センター
- ・講 師 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授
天野和彦 氏
NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長
李 仁鉄 氏

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受講者	15人	25人	172人

※平成28・29年度は講座形式で実施

③ 災害ボランティア講座 中級編

- ・期 日 平成 30 年 10 月 28 日 (日)
- ・会 場 新発田市ボランティアセンター
- ・講 師 NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受講者	17 人	26 人	25 人

④ 災害ボランティア講座 上級編

- ・期 日 平成 31 年 3 月 2 日 (土)
- ・会 場 新発田市ボランティアセンター
- ・講 師 NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏
新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 佐藤 正弥 氏
- ・参加者 39 人

● 除雪ボランティア活動

除雪ボランティア『雪のけ隊』を組織し、一人暮らし高齢者や障がいのある方で自力での除雪が困難な方々へ、生活通路の除雪活動を行いました。

除雪ボランティア「雪のけ隊」の活動

期 間 平成 30 年 12 月～平成 31 年 3 月

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
対象世帯	30 世帯	39 世帯	6 世帯
活動件数	47 件	51 件	1 件
活動延べ人数	52 人	57 人	1 人
ボランティア登録数	61 人	111 人	68 人

(12) マイクロバス (ボランティア号) 運行事業 < P 64 >

マイクロバスを運行し、ボランティア活動や地域福祉活動の円滑な推進に務めました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
運行回数	154 回	168 回	103 回

(13) 県共同募金会新発田市共同募金委員会事務局の運営

- 新潟県共同募金会新発田市共同募金委員会の事務局を担当し、市民の理解と募金委員・募金協力委員・福祉関係者等の協力を得て、連帯感の高揚と募金活動の円滑な推進と拡充を図り、共同募金の実績増を図りました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
一般募金	14,783,088 円	14,487,114 円	14,274,890 円

A 配分額 6,158,000 円 (令和元年度事業費として新潟県全体の福祉に活用されます。)

B 配分額 8,420,886 円 (令和元年度事業費として市内の地域福祉推進に活用されます。)

災害世帯へ県共同募金会からの見舞い金等お届けしました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
見舞金	5 世帯 50,000 円	4 世帯 40,000 円	6 世帯 60,000 円
弔慰金	1 件 10,000 円	0 件 0 円	0 件 0 円

● 福祉団体支援

高齢者や障がい者等各種福祉団体活動の活性化を目的に助成しました。

助 成 先	助成金額 (円)
(ア) 新発田市老人クラブ連合会への助成	450,000
(イ) 身体障害者団体連合会への助成	100,000
(ウ) 民生委員児童委員連合会助成	300,000
(エ) 地区民生委員協議会助成	10 地区 555,000
(オ) 自治会連合会への助成	500,000

● 地域支え合い活動支援事業公募型助成

地域の福祉を支える様々なボランティア活動や市民活動団体を支援し、市民参加による福祉のまちづくりを進めるため、公募により下記団体に助成しました。

団 体 名	助成金額 (円)
本町一丁目町内会	134,000
NPO 法人 新発田科学技術教育ネットワーク	146,000
城北町 1 丁目自治会	146,000
NPO 五十公野山もりづくりボランティアの会	131,000
特定非営利活動法人 新発田市手をつなぐ育成会	58,000
スマイル	97,000
松岡相撲保存会	142,000
住吉地区自治会連合会	146,000

(14) 新発田市民生委員児童委員連合会事務局の運営

市民生委員児童委員連合会の事務局を担当し、会の活動を推進するとともに地域福祉・在宅福祉活動の推進に努めました。

- 民生委員児童委員の資質向上と適切な援助活動を推進するため、研修会と視察研修を行い、活動の推進に努めました。
- 毎月役員会及び、理事会を開催し関係機関との連携を図りました。
- 活動の活発化を図るため、企画部・児童部の活動推進に努めました。

(15) 日本赤十字社新潟県支部新発田市地区事務局の運営

日赤新発田市地区の事務局を担当し、赤十字の「人道」・「博愛」の精神を尊重し、その活動と精神が常に生かされるよう市民に啓発するとともに、赤十字の活動財源である協力金の増強に努めました。

- 市民を対象とした救急教室の開催。また、日赤安全奉仕団・日赤奉仕団が防災訓練・福祉施設での奉仕作業等の活動を積極的に展開されるよう努めました。

- 日赤協力金収納実績

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
日赤社費・協力金 収納実績	10,895,918 円	10,555,779 円	10,443,278 円

- 災害世帯へ見舞金をお届けしました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
災害見舞金	5 世帯 50,000 円	4 世帯 40,000 円	7 世帯 64,000 円
弔慰金	—	—	—

- 救急員養成講習

- ・期 日 平成 30 年 5 月 13 日～7 月 1 日 毎週木曜日他 計 9 回
- ・会 場 ボランティアセンター
- ・講 師 日本赤十字社救急法指導員

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者	11 人	9 人	2 人

- 救急員継続講習

- ・期 日 平成 30 年 5 月 13 日
- ・会 場 ボランティアセンター
- ・講 師 日本赤十字社救急法指導員

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者	11 人	6 人	4 人

- 基礎（AED）講習会

- ・期 日 平成 30 年 5 月 13 日
- ・会 場 ボランティアセンター
- ・講 師 日本赤十字社救急法指導員

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者	10 人	3 人	3 人

（16）新発田市ボランティア連絡協議会事務局の運営

- ボランティア連絡協議会

（ア）総 会

- ・期 日 平成 30 年 4 月 25 日（水）
- ・会 場 新発田市ボランティアセンター
- ・参加者 会員、事務局 計 55 人

(イ) 研修視察

- ・期 日 平成30年6月26日(火)
- ・視 察 先 ヤスダヨーグルト工場 他
- ・参 加 者 会員、事務局 計62人

3 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業 〈 P152 〉

介護保険法に基づき、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、居宅サービスの提供が確保されるよう努めました

- しばた社協居宅介護支援センター 〈P224〉

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給付管理件数	2,346件	2,268件	2,432件
介護予防ケアプラン作成件数	727件	575件	497件

- 加治川居宅介護支援センター 〈P227〉

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給付管理件数	613件	395件	194件
介護予防ケアプラン作成件数	234件	143件	48件

※平成30年10月1日から、しばた社協居宅介護支援センターと統合した。

(2) 通所介護事業(デイサービス事業) 〈 P88 〉

介護保険法に基づき、日常生活上の世話及び機能訓練を行い、社会的孤立感の解消、心身の機能維持、家族の身体的・精神的負担の軽減に努めました。

- 新発田東デイサービスセンター(平成30年6月末 閉所) 〈 P132 〉

- (ア) 受 入 日 数 61日
- (イ) 延利用者数 1,048人 (一日平均17.2人)
- (ウ) 定員数 25人

- 新発田北デイサービスセンター 〈 P137 〉

- (ア) 受 入 日 数 363日
- (イ) 延利用者数 8,139人 (一日平均22.4人)
- (ウ) 定員数 31人

- 加治川デイサービスセンター 〈 P152 〉

- (ア) 受 入 日 数 363日
- (イ) 延利用者数 7,236人 (一日平均19.9人)
- (ウ) 定員数 35人

- 豊浦デイサービスセンター 〈 P152 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 3 2 日
 - (イ) 延利用者数 6, 7 7 0 人 (一日平均 2 0. 4 人)
 - (ウ) 定員数 2 7 人 (6 月～)

- 新発田南デイサービスセンター 〈 P142 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 8, 7 0 2 人 (一日平均 2 4. 0 人)
 - (ウ) 高齢者、障がい者を合わせた定員数 3 5 人 (6 月～)
- 身体障がい者
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 1, 1 0 6 人 (一日平均 3. 1 人)

(3) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス事業) 〈 P111 〉

介護保険法に基づき、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を目的とし、事業展開に努めました。また、介護保険認定外の高齢者や障がい者で生活支援を必要とする家庭を訪問し必要なサービスに努めました。

- 新発田市社協訪問介護事業所
 - 訪問介護 派遣延回数 2, 6 9 5 回
 - 介護予防訪問介護 派遣延回数 1, 5 7 8 回

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア活動の推進 〈 P13 〉

ともに助け合い「ともに生きる」力と豊かさを育むため、ボランティア活動に対する市民の関心を高め、多くの市民による積極的な活動への参加を促し、だれもが安全で安心して暮らせる地域社会の形成に向けた取り組みを推進しました。

また、地域の支え合いの仕組みづくりをテーマにボランティアグループ交流会事業を開催しました。

- 聴覚障がい者に対するボランティア活動
 - (ア) 新発田手話サークル・木の芽の会による手話通訳
(第 30 回ボランティアフェスティバル, ふくしの集い等)
 - (イ) 要約筆記サークル四季による要約筆記
(第 30 回ボランティアフェスティバル, ふくしの集い等)

- 視覚障がい者に対するボランティア活動
 - (ア) 音声訳ボランティア「むぎの会」…… 新発田市の受託事業「声の広報発行事業」として「広報しばた」・「社協だより」その他公共広報紙を録音テープ及びCD に吹き込み送付 (情報提供)、個人からの図書等の音声訳依頼への対応等
対象者 2 3 人

(イ) 点訳奉仕団まどかグループ ……市立図書館の図書目録作成、県立図書館の点訳図書作成、自動販売機の点字表示の作成等

(ウ) 新発田音声パソコンフィンゲル ……音声パソコンの指導(定例会 毎週月曜日)

(エ) 拡大写本「結の会」……弱視児童用の小学校教科書を製作

※その他、ボランティアグループがそれぞれのグループ活動を通し、ボランティア活動を展開しました。

(2) 第30回ボランティア フェスティバルの開催 〈 P16 〉

- ・期 日 平成30年10月13日(土)
- ・会 場 カルチャーセンター
- ・参加者 ボランティア、福祉団体、福祉施設、一般市民
- ・来場者数 5,082人(職員を含む)
- ・内 容
 - ・ボランティア・福祉活動団体の活動紹介、作品の展示販売
 - ・ボランティア体験コーナー
(手話、点訳、拡大写本、車いす、ブラインドウォーク)
 - ・福祉施設・作業所等の紹介、作品の展示販売 ・ステージイベント
 - ・新発田市赤十字奉仕団による豚汁販売
 - ・給食ボランティアによる軽食コーナー ・歌声サロン
 - ・トレジャーハンター ～ボランティアの謎～ ・ふくシールラリー
 - ・動物ふれあいコーナー ・日赤奉仕団による救急法指導
 - ・ふれあい縁日コーナー ・ふれあいサッカーパーク
 - ・フリーマーケット ・移動えほん館コーナー
 - ・ミニ列車乗車コーナー ・ターゲットポッチャコーナー

《 30周年記念イベント 》

- ・タイムカプセル(10年後の自分へメッセージを残す)
- ・チャリティーグッズ販売(ボールペン3種類)
- ・被災地応援ソング(「上を向いて歩こう」を参加者全員で合唱)

(3) 24時間テレビチャリティー(日本テレビ・全国社協との協力事業) 〈 P13 〉

- ・期 日 平成30年8月25日(土)～26日(日)
- ・会 場 イオンモール新発田店
- ・協 力 者 学生ボランティア“Summer 倶楽部ふくし” 延べ17人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
募金実績額	305,793円	399,610円	409,032円

(4) 各種ボランティア講座の開催 〈 P13 〉

チャレンジボランティア体験講座

従来よりもハードルを低くして、「ちょっと体験」からボランティア活動への第一歩を踏み出していただくことを目的とした気楽にできる初心者向け体験講座を実施しました。

講座名	講師	開催日・会場	参加
点訳体験	日赤点訳奉仕団 新発田まどかグループ	平成30年6月8日(金) ボランティアセンター	5人
音声訳体験	音声訳むぎの会	平成30年6月23日(土) ボランティアセンター	4人
拡大写本体験	拡大写本「結の会」	平成30年9月21日(金) ボランティアセンター	2人

(5) ふくしの集い

- ・期 日 平成30年12月1日(土)
- ・会 場 新発田市地域交流センター
- ・第1部 社会福祉協議会長表彰式
- ・第2部 講演 「自分を好きになるための心の育て方」
講師 株式会社子どもの笑顔 代表取締役 岩堀 美雪 氏
- ・参加者 170人

(6) 見守り・支え合いの「ながら活動」の推進

平成28年度からスタートした「地域みまもり隊」では、日常の生活・活動を送りながら行う“ながら活動”として民生・児童委員や自治会連合会をはじめ、市民の皆様がこの活動の趣旨を説明してきました。平成30年度には135団体(1,520名)、個人登録82世帯(100名)と大変多くの方の登録いただき、身近な見守り・支え合い活動が徐々に広がってきています。この活動で得られた“気づき”課題解決に向けて当会が繋ぐ役割を果たしています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団 体	82団体 841人	118団体 1,213人	135団体 1,520人
個 人	56世帯 66人	74世帯 90人	82世帯 100人

● 地域みまもり隊の集い

- ・期 日 平成30年7月8日(日)
- ・会 場 新発田市地域交流センターあおり館1階 屋内広場
- ・講 師 新潟医療福祉大学 准教授 青木 茂 氏
- ・活動報告 御幸町2丁目自主防災会、新発田市民生委員児童委員連合会
新発田市立東小学校、株式会社 花安新発田斎場
- ・参加者 169人

5 在宅福祉サービス事業の推進

高齢者をはじめ障がい者が在宅で安心して生活できるよう、当事者や地域のニーズに合ったサービスが提供できるように努めました。

(1) 在宅高齢者給食サービス事業 〈 P162 〉

- 新発田市給食ボランティアグループ（新発田・豊浦地区）

- ・実施回数 44回
- ・調理ボランティア延べ 437人 ・運転ボランティア延べ 512人
- ・隣保館サロン弁当 1回 110食 ・ボランティア 14人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
配食数(延べ)	2,917食	3,054食	2,788食

- ボランティア紫雲寺友の会（紫雲寺・加治川地区）

- ・実施回数 45回
- ・調理ボランティア延べ 296人 ・運転ボランティア延べ 121人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
配食数(延べ)	612食	580食	392食

(2) 新発田中央地域包括支援センター 〈 P158 〉

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために地域の中に積極的に入って問題の発見に努め、保健・福祉・医療の専門職や民生委員、ボランティア等地域福祉を支える様々な関係者と連携を創り、ネットワークの構築を図り、地域において総合的なマネジメントを実施し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができるように支援しました。

- 介護予防支援業務

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予防給付件数	5,289件	3,993件	3,267件
介護予防ケアマネジメントA		1,243件	2,282件
介護予防ケアマネジメントB		136件	120件

- 包括的支援業務

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総合相談件数(実/延)	3,115件 /4,884件	3,008件 /4,515件	2,769件 /3,919件
権利擁護事業件数(実/延)	46件/458件	55件/484件	36件/484件
住宅改修支援件数(実)	10件	6件	8件

- 地域ケア会議の開催

平成30年度には、地域ケア個別会議を9回開催し、それぞれの課題解決に取り組みました。

(3) ホームヘルプサービス事業（自立支援家事援助サービス）の運営 〈 P115 〉

介護保険の認定申請を行ったものの非該当となった高齢者の方で、介護予防または、生活支援を必要とするご家庭にホームヘルプサービスを提供しました。

- 自立支援家事援助

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
派遣実世帯数	6 世帯	2 世帯	2 世帯
派遣延時間数	223.0 時間	103 時間	69 時間
派遣延回数	199 回	103 回	69 回

※利用者が全て介護認定となったことから、平成 30 年 12 月で事業を終了した。

(4) 生活応援団 〈 P7 〉

「手助けが必要な人に手助けできる人がお手伝いする」という趣旨のもと、「ちょっと誰かに手を貸してもらいたい」という地域の個別ニーズに応え、地域の支え合い、助け合いの担い手として活動する会員相互の助け合い活動を展開しました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
提供会員数	51 人	44 人	49 人
利用会員数	132 人	143 人	163 人
活動件数	888 件	762 件	971 件

- 困ったときはお互いさま講座

- ・期 日 平成 30 年 5 月 15 日（火）
- ・会 場 ボランティアセンター
- ・内 容 第 1 部 「住民参加型福祉サービスとは」
「生活応援団」概要説明
第 2 部 団体活動報告、提供会員との交流会
- ・講 師 夕映えの会 会長 神立 英明 氏
- ・参加者 36 人

6 障がい児・者福祉の推進

障がい児・者が地域において安心して暮らすことができるように、また、障がいの程度や障がいの特性に応じたサービス・相談支援に努めました。

(1) 障がい福祉サービス事業の展開 〈 P149 〉

心身の障がいのため日常生活を営むのに支障のある方等にホームヘルプサービスや移動支援事業を実施しガイドヘルプサービスを提供しました。

- 新発田市社協居宅介護等事業所（居宅介護 ホームヘルプ） 〈 P152 〉

	平成 28 年度 5 月～	平成 29 年度	平成 30 年度
派遣世帯数	10 世帯	10 世帯	10 世帯
派遣延時間数（身体）	894.0	701.5 時間	747.5 時間
派遣延時間数（家事）	519.5 時間	607 時間	583.5 時間
派遣延回数	1,237 回	1,073 回	1,163 回

● 移動支援（ガイドヘルプサービス）事業 〈 P172 〉

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
派遣件数	726 件	696 件	650 件
派遣時間数	1723.6 時間	1627 時間	1388.5 時間
利用契約者数	25 人	26 人	23 人
ヘルパー人数	8 人	9 人	9 人

(2) 意思疎通支援事業の受託運営 〈 P121 〉

● 声の広報発行事業

協力団体 : 音声訳「むぎの会」

利用登録者数 : 20 名

利用状況 : ・ 広報しばた (毎月 1 日、15 日)
 ・ しばた社協だより (毎月 15 日)
 ・ 健康かいはつ (6、12 月)
 ・ 議会報 (4、7、10、1 月)
 ・ 新聞コラム (月 3 回)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
発行数	77	77	78

● 手話奉仕員養成事業

「手話奉仕員養成講座（入門課程）」を開催

- ・ 期 日 : 平成 30 年 6 月 20 日～8 月 4 日 全 12 回
- ・ 会 場 : ボランティアセンター
- ・ 受講対象者 : 初めて手話を学ぶ人・手話に興味のある人
- ・ 講 師 : 講師伝達講習会修了者 3 人 聴覚障がい者講師 6 人

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受講者数	8 人	12 人	8 人

● 手話奉仕員派遣事業

・ 手話奉仕員派遣事業運営状況

- ・ 手話奉仕員数 32 人
- ・ 派遣人数 163 人
- ・ 派遣時間数 463 時間

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
派遣件数	79 件	86 件	118 件

● 要約筆記奉仕員派遣事業

・ 要約筆記奉仕員派遣事業運営状況

- ・ 要約筆記奉仕員数 27 人
- ・ 派遣人数 47 人
- ・ 派遣時間数 155 時間

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
派遣件数	5 件	3 件	19 件

(3) 福祉有償運送事業（リフトカーの運行） 〈 P61 〉

歩行困難な障がい者等の福祉の増進と社会参加を図るため、運転ボランティアの協力により、リフトカー「あやめ号」を運行しました。

- ・利用登録者数 21人
- ・運転ボランティア登録者数 13人

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
運行件数	290 件	233 件	226 件

(4) 複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業 〈 P187 〉

子どもから高齢者まで誰もが利用できる複合型福祉施設として、子育て支援や障がい児の放課後支援、世代間交流事業の推進に努めました。

- 放課後等デイサービス 〈 P191 〉

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
延利用者数	2,362 人	2,142 人	2,837 人

7 **生きがい事業の推進**

高齢者が健康で生きがいを持って生活できるよう「金蘭荘」や「高齢者レクリエーションセンター」、豊浦福祉センター「ほうづきの里」、老人憩いの家「眺海荘」、加治川総合福祉センター「さくら苑」の運営を円滑に行い、種々の活動を通じ、利用者の生きがいの増進を図られるよう努めました。また、市から委託された敬老会及び金婚祝い事業の推進に努めました。

(1) 敬老会及び金婚祝い事業の受託運営 〈 P165 〉

- 敬老会の開催状況

対象者 75才以上

※米寿・白寿・新100歳の方には祝状と祝品を贈りました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
対象者	16,552 人	16,085 人	16,137 人
地区開催出席者	3,912 人 24 地区	3,843 人 24 地区	3,789 人 24 地区
施設入所対象者	562 人 21 施設	548 人 26 施設	555 人 25 施設

- 金婚祝い事業

市内に在住の金婚を迎えられた夫婦に記念品を贈り金婚を祝いました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
件数	218 組	234 組	177 組

(2) 福祉センター等管理運営事業

- 老人福祉センター「金蘭荘」 〈 P142 〉

開館日数 294日

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	8,591人	6,325人	6,882人

- 高齢者レクリエーションセンター 〈 P180 〉

開館日数 294日

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	5,354人	5,763人	5,909人

- 豊浦福祉センター「ほうづきの里」 〈 P168 〉

開館日数 312日

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	26,138人	26,283人	31,735人

- 老人憩いの家「眺海荘」 〈 P176 〉

開館日数 305日

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	3,532人	3,637人	3,293人

- 加治川総合福祉センター「さくら苑」 〈 P172 〉

開館日数 306日

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	3,364人	2,740人	3,023人

- 地域の茶の間「すみだ501」

平成24年6月から加治川総合福祉センター「さくら苑」を拠点として、毎月第2、第3、第4月曜に開催している。布草履や網かご作りなどボランティアの指導者を招いて教室を開催するなど、仲間づくり・交流の場の提供を行いました。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回数	29回	30回	28回
延参加者数	891人	991人	714人
協力ボランティア数(延)	24人	27人	20人

- 地域の茶の間「あいさに」

平成26年5月から、おおむね50～70才の方を対象とした体験型のサロンを開催し、家族の介護や家事、育児、畑仕事などの合間（あいさに）気軽に趣味へのチャレンジや仲間づくり、情報交換の場を提供しました。

体験テーマ ・ふくろうブローチ ・洋服作り ・花形チョーカー
 ・梱包テープでかご作り ・がまぐちバック

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
回数	26 回	20 回	19 回
延参加者数	192 人	158 人	138 人

● 地域のお茶の間「金蘭荘サロン」

季節ごとの行事を工夫しながら、仲間づくり・交流の場の提供を行いました。

実施内容についても、参加者が意見を出し合いながら活動を行いました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
回数	24 回	23 回	49 回
延参加者数	462 人	518 人	631 人

(3) ふれあい・いきいきサロン活動 〈 P58 〉

少子高齢化社会が進む中、高齢者や障がい者、子育て中の母親など、世代・性別・文化の壁を越えて、いろいろな住民が住み慣れた場所でいつまでもいきいきと暮らせるように、自由に集える地域の交流の場づくりを進め、ご近所同志のつながりづくりや心と体の健康維持、情報交換が気軽にできるよう、地域のボランティアを中心に、おしゃべり会や昼食会、歌や踊りの鑑賞会を開催、地域住民の生きがいや社会参加などの充実を図りました。

また、社協の運営管理施設やレクリエーション用具を利用できるよう書類等整備し明示しました。加えて、ボランティア連絡協議会と連携を図り、ボランティアの講師を派遣できるよう整備しました。

● 開催地区

《外ヶ輪》・・・8箇所

・城北町1丁目、城北町3丁目、新富町1丁目、大手町5丁目、緑町1・3丁目、緑町全体、本町1丁目、本町4丁目

《猿橋》・・・2箇所

・西園町3丁目、中曽根町2・3丁目

《御免町》・・・3箇所

・大栄町7丁目、四之町、上鉄旭

《二葉》・・・4箇所

・新富町2丁目、緑町2丁目、小舟町1丁目、緑町2丁目

《住吉》・・・2箇所

・御幸町二丁目、住吉地区全体

《東豊》・・・4箇所

・東新町西町内、東新町3丁目、東新町3・4丁目、高浜

《五十公野》・・・7箇所

・天の原、五十公野、七軒町、いわい団地、上内竹、下町、金蘭荘

《松浦》・・・3箇所

・松岡、荒川、上中山

《米倉》・・・3箇所

・米倉、中々山、山内

- 《赤谷》・・・2箇所
 - ・上赤谷、滝谷新田
- 《川東》・・・9箇所
 - ・下高関、宮古木、板山、東姫田、上羽津、南楯、石喜、上三光、下羽津
- 《菅谷》・・・5箇所
 - ・下寺内、菅谷、小出、蔵光、黒岩
- 《加治》・・・5箇所
 - ・三日市・早道場、新保小路、下中、加治全体、茗荷谷
- 《佐々木》・・・6箇所
 - ・上中沢西、曾根、鳥穴・砂山、下興野、佐々木、日渡
- 《豊浦》・・・11箇所
 - ・月岡温泉、上本田、上荒町・蛇塚、下荒町、天王、大伝新道、下飯塚、三ツ樹、月岡、竹ヶ花、中ノ通
- 《紫雲寺》・・・13箇所
 - ・関稲、藤塚公会堂、藤塚浜、上真中、真野原・米子、稻荷岡一、稻荷岡三、河岸場、二ツ山・人橋、関稲一、関稲二、大島、小川
- 《加治川》・・・11箇所
 - ・貝塚、下中、相馬、金塚、下坂町、箱岩、岡島、六ヶ字、さくら苑、川尻、紫雲寺・加治川
- 《テーマ型サロン》・・・3団体
 - ・男性介護者サロン ほっこり
 - ・子育てサークル なないろ
 - ・フードバンクしばた

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
開催サロン数	34 箇所	74 箇所	98 箇所

(4) 地域ふれあいルーム運営事業 〈 P146 〉

新発田市総合福祉センターいきいき館において「地域ふれあいルーム」を運営し、家に閉じこもりがちな高齢者、要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、仲間づくりや交流の場など、通所によるサービスを提供して要介護への移行防止や孤立状態の解消を図りました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間利用者数	2,783 人	2,484 人	2,825 人
一日当たり	11.5 人	10.3 人	11.9 人

8 子育て、若者支援事業

(1) 子育て支援事業（複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業） 〈 P130 〉

子どもから高齢者まで誰もが利用できる複合型福祉施設として、子育て支援や障がい児の放課後支援、世代間交流事業の推進に努めました。

また、初めて赤ちゃんを育てているお母さんのための仲間づくり・親子の絆作り・育児についての情報交換・学びの場作り等を目的に、BPプログラム（ベビープログラム）事業を平成30年度には4回実施しました。対象を生後2～5か月の第1子のお子さんとそのお母さんとし、65組の親子が参加し、初めての育児に対する不安の解消や仲間作りを推進しました。

- 地域子育て支援センター(子育て相談、プレイルーム)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延利用者数	8,045人	6,619人	7,090人

- 出張ほのぼの家族（毎月1回、会場：豊浦福祉センターほうづきの里）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延利用者数	406人	314人	399人

- 子どもデイサービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延利用者数	273人	237人	307人

(2) 若者自立支援事業 〈 P82 〉

若者サポートステーション、ボランティア団体、他関連団体等と連携してボランティア活動を通じた社会的な居場所づくりや、就労意欲の向上に努めました。

また、「若者自立支援のための関係機関・団体情報交換会」を開催し、当事者・支援団体・関係機関等の情報の共有、関係の構築を図りました。

- ボランティア体験

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
音声訳ボランティア むぎの会	3人	5人	21人
社協事業ボランティア	355人	1,034人	1,258人
団体へのボランティアコーディネート	-	-	3件

- 若者居場所サポーター養成講座

- ・期 日：平成31年3月21日（木）
- ・会 場：ボランティアセンター
- ・参 加：12人

- 若者交流会・親のサロン

ひきこもり、ニート、不登校等生きづらさを抱え、社会と繋がるのが困難な若者が集い、日頃の思いを話し合ったり、情報交換を行うなどしてつながることへの第一歩となる場を運営しました。また、その親の不安解消、親同士の交流等を目的として親のサロンも同時に開催しました。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
若者交流会 毎月 第3金曜	188人(年15回)	218人(年18回)	364人(年23回)
親のサロン 奇数月 第3金曜	10人(年6回)	8人(年6回)	11人(年6回)

9 **総合相談事業**

(1) 地区担当制の導入

地区福祉活動計画の策定済の地域に対して担当職員を配置し、継続的な支援・相談窓口として地域の支援を行いました。

(2) 総合相談会の実施

① 高齢者とその家族を対象とした「あんしん相談会」を2回開催しました

相談会は当会が運営するデイサービスセンターを併設する福祉センターで行い、デイサービスセンター、圏域の包括支援センターそして保健師が連携して高齢や健康、成年後見、またボランティア活動やサロン活動などの生きがいをづくりについての相談を行いました。

第1回 あんしん相談会

日 時：平成30年11月5日（月）13：30～
会 場：加治川総合福祉センターさくら苑
件 数：5件

第2回 あんしん相談会

日 時：平成31年3月8日（金）13：30～
会 場：豊浦福祉センターほうづきの里
件 数：1件（健康講話 参加者14名）

② 孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業に基づく総合相談会を2回開催しました。

相談会では将来のことについてや財産、相続等その内容に応じて各分野の専門家による適切なアドバイスを行いました。

第1回 「暮らし」と「住まい」のふくし相談会

日 時：平成30年11月25日（日）10：00～16：00
会 場：ボランティアセンター
件 数：21件

第2回 「暮らし」と「住まい」のふくし相談会

日 時：平成31年3月17日（日）10：00～16：00
会 場：ボランティアセンター
件 数：20件

以上が平成30年度事業の概要ですが、資料については次ページ以下に掲載しました。

平成 30 年度事業報告【資料編】

○社会福祉協議会費地区別実績一覧

- ・平成 30 年度日赤社費地区別実績一覧
- ・平成 30 年度共同募金戸別募金地区別実績一覧（一般募金）

○デイサービスセンター事業報告（収益及び利用者の推移 H28～H30）

- ・東デイサービスセンター
- ・北デイサービスセンター
- ・南デイサービスセンター
- ・豊浦デイサービスセンター
- ・加治川デイサービスセンター

○訪問介護事業報告（収益及び利用者の推移 H28～H30）

- ・新発田市社協訪問介護事業所

○福祉センター等事業報告（利用料及び利用者の推移 H28～H30）

- ・福祉センターほうづきの里
- ・老人憩いの家 眺海荘
- ・老人福祉センター金蘭荘
- ・高齢者レクリエーションセンター
- ・加治川総合福祉センターさくら苑

○平成 30 年度職員研修参加状況

平成 30 年度新発田市社会福祉協議会費 地区別実績一覧

○取りまとめ期間 平成 30 年 5 月 1 日～5 月 31 日 一世帯あたり 400 円

地区名	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合(%)	一世帯あたり額
本 庁	21,760	15,433	4,392,500	70.92%	285
五十公野	1,773	1,701	485,510	95.94%	285
松 浦	635	595	198,300	93.70%	333
米 倉	356	315	124,640	88.48%	396
赤 谷	197	192	75,200	97.46%	392
川 東	1,266	1,163	413,990	91.86%	356
菅 谷	837	831	287,600	99.28%	346
加 治	1,121	952	293,200	84.92%	308
佐々木	996	881	294,066	88.45%	334
豊 浦	2,692	2,474	746,200	91.90%	302
紫雲寺	2,034	1,975	746,100	97.10%	378
加治川	1,792	1,741	660,600	97.15%	379
合 計	35,459	28,253	8,717,906	79.68%	309

平成 30 年度日赤社費地区別実績表

○取りまとめ期間 平成 30 年 8 月 3 日～8 月 31 日 一世帯あたり 500 円

区分	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合(%)	一世帯あたり額
本 庁	21,766	10,430	5,257,758	47.92%	504
五十公野	1,776	1,088	544,531	61.26%	500
松 浦	623	476	239,250	76.40%	503
米 倉	353	311	155,500	88.1%	500
赤 谷	197	168	90,500	85.28%	539
川 東	1,264	995	493,210	78.72%	496
菅 谷	832	779	390,100	93.63%	501
加 治	1,127	715	357,500	63.44%	500
佐々木	1,000	756	378,760	75.60%	501
豊 浦	2,692	1,563	784,219	58.06%	502
紫雲寺	2,028	1,875	937,050	92.46%	500
加治川	1,798	1,631	814,900	90.71%	500
合 計	35,456	20,787	10,443,278	58.63%	502

平成 30 年度 共同募金戸別募金地区別実績一覧 (一般募金)

○取りまとめ期間 平成 30 年 10 月 1 日～10 月 31 日 一世帯あたり 450 円

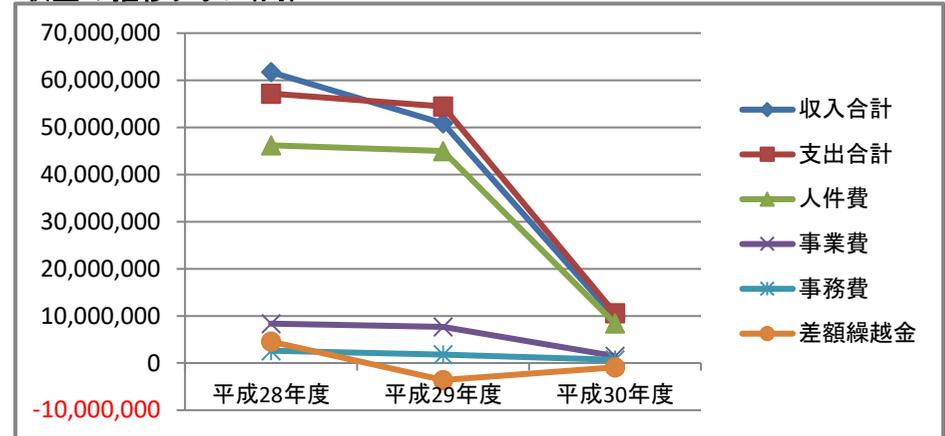
区分	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合(%)	一世帯あたり額
本 庁	21,766	16,101	4,709,917	73.97%	293
五十公野	1,776	1,629	487,096	91.72%	299
松 浦	623	597	227,350	95.83%	381
米 倉	353	314	139,350	88.95%	444
赤 谷	197	192	83,700	97.46%	436
川 東	1,309	1,227	459,667	93.74%	375
菅 谷	892	805	322,250	90.25%	400
加 治	1,127	980	333,500	86.96%	340
佐々木	1,000	955	345,800	95.50%	362
豊 浦	2,692	2,490	748,720	92.50%	301
紫雲寺	2,028	1,974	832,700	97.34%	422
加 治 川	1,803	1,754	737,271	97.28%	420
合 計	35,566	29,018	9,427,321	81.59%	325

東デイサービスセンター事業報告書

収益の推移 (円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入合計	61,715,967	50,838,362	9,681,640
支出合計	57,174,241	54,447,230	10,569,928
人件費	46,194,772	44,987,799	8,407,709
事業費	8,364,809	7,653,118	1,473,809
事務費	2,614,660	1,806,313	688,410
差額繰越金	4,541,726	-3,608,868	-888,288

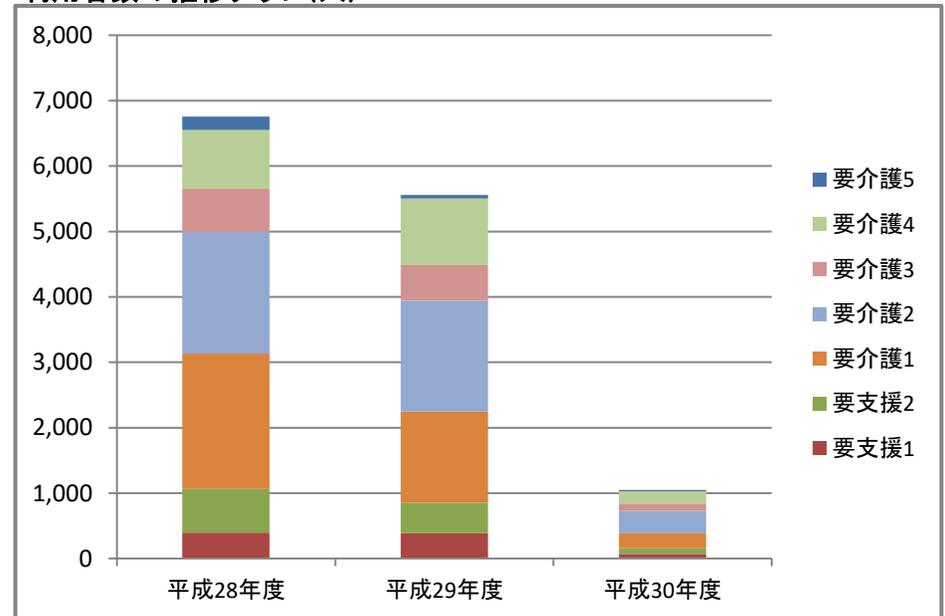
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要支援1	397	387	70
要支援2	666	465	88
要支援計	1,063	852	158
要介護1	2,069	1,394	228
要介護2	1,860	1,693	340
要介護3	666	546	114
要介護4	892	1,020	189
要介護5	208	52	19
要介護計	5,695	4,705	890
合計	6,758	5,557	1,048

利用者数の推移グラフ(人)

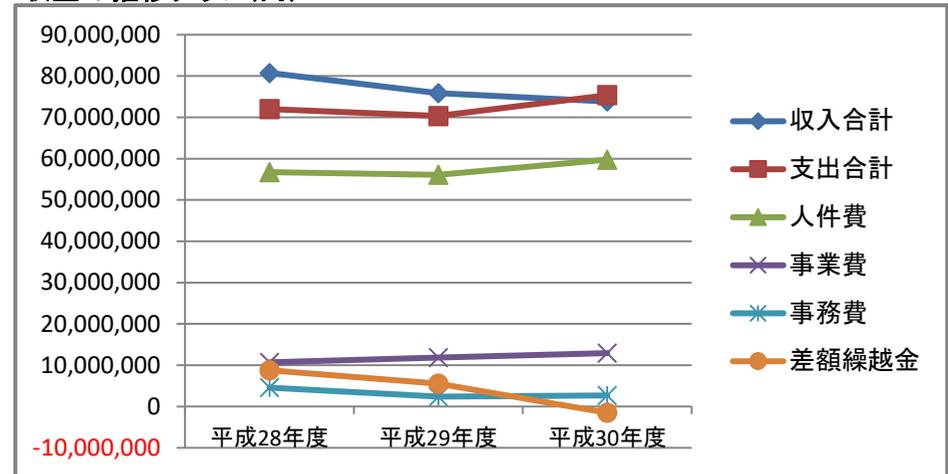


北デイサービスセンター事業報告書

収益の推移 (円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入合計	80,756,101	75,875,070	73,836,835
支出合計	71,987,996	70,344,959	75,364,515
人件費	56,727,860	56,079,114	59,755,828
事業費	10,692,763	11,875,490	12,916,982
事務費	4,567,373	2,390,355	2,691,705
差額繰越金	8,768,105	5,530,111	-1,527,680

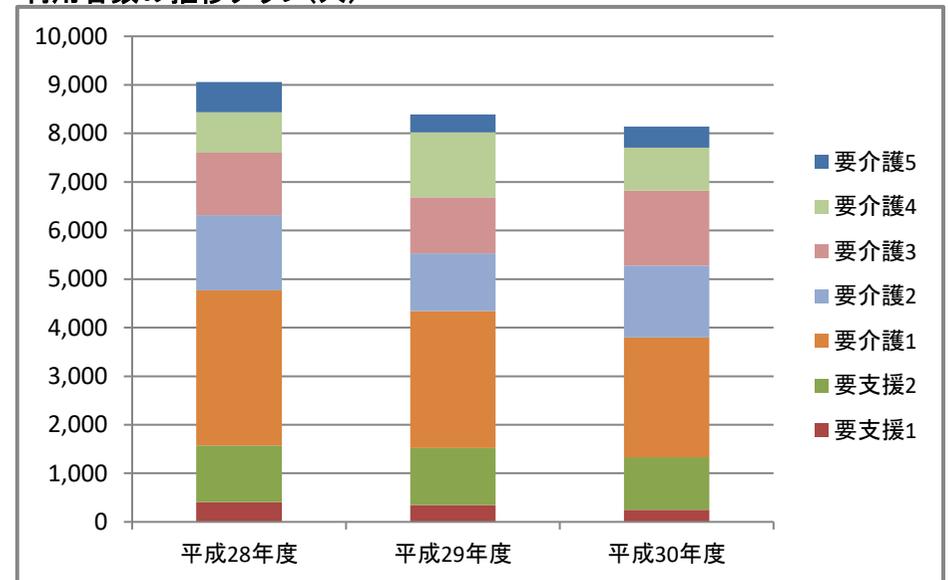
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要支援1	404	347	248
要支援2	1,172	1,173	1,084
要支援計	1,576	1,520	1,332
要介護1	3,192	2,822	2,464
要介護2	1,549	1,187	1,480
要介護3	1,286	1,153	1,546
要介護4	833	1,340	883
要介護5	624	365	434
要介護計	7,484	6,867	6,807
合計	9,060	8,387	8,139

利用者数の推移グラフ(人)

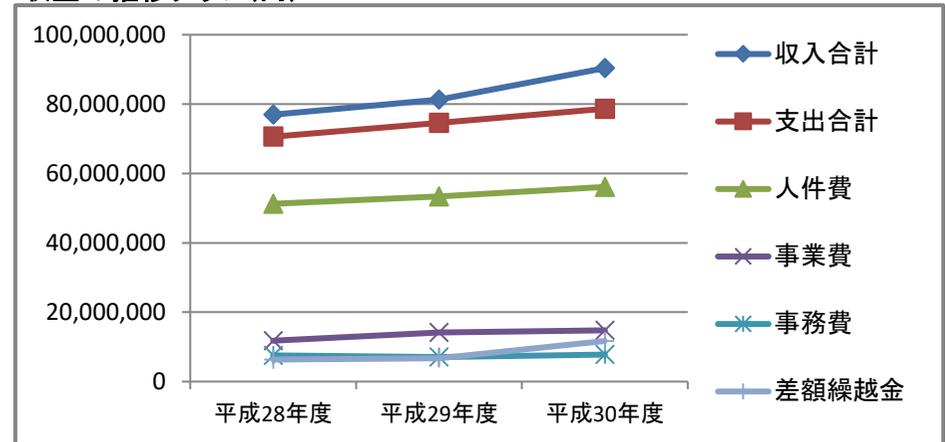


南デイサービスセンター事業報告書

収益の推移 (円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入合計	76,950,904	81,286,805	90,373,167
支出合計	70,603,561	74,607,701	78,666,091
人件費	51,252,734	53,349,915	56,116,416
事業費	11,792,166	14,192,350	14,774,611
事務費	7,558,661	7,065,436	7,775,064
差額繰越金	6,347,343	6,679,104	11,707,076

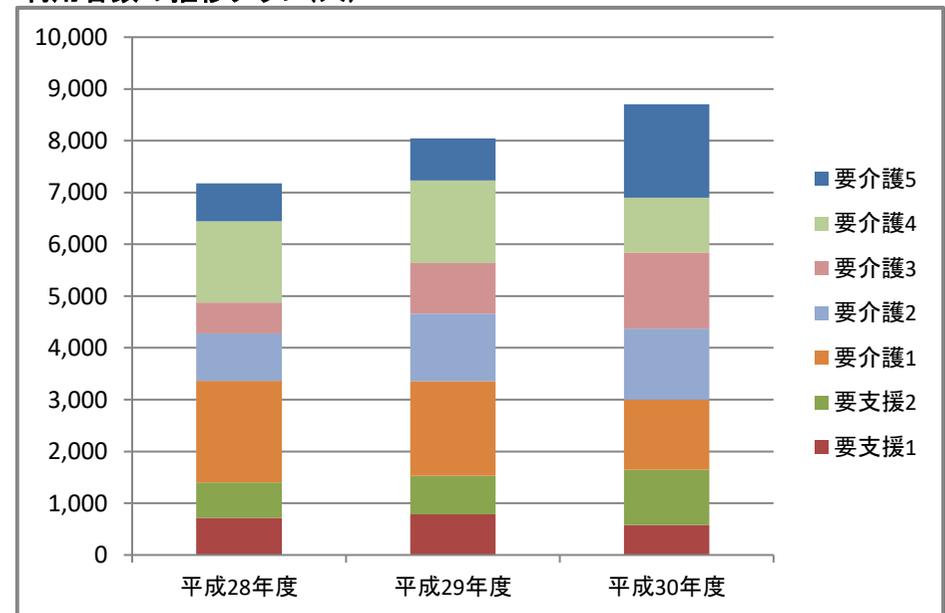
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要支援1	720	788	578
要支援2	678	739	1,068
要支援計	1,398	1,527	1,646
要介護1	1,963	1,830	1,352
要介護2	916	1,304	1,372
要介護3	602	979	1,473
要介護4	1,568	1,595	1,058
要介護5	733	811	1,801
要介護計	5,782	6,519	7,056
計	7,180	8,046	8,702
障がい	1,452	1,192	1,106
合計	8,632	9,238	9,808

利用者数の推移グラフ(人)

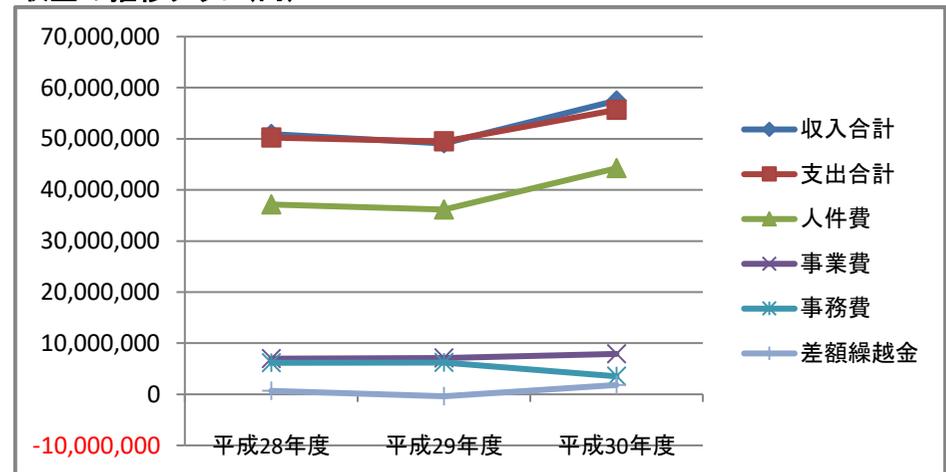


豊浦デイサービスセンター事業報告書

収益の推移 (円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入合計	50,940,658	49,091,064	57,496,710
支出合計	50,248,009	49,476,145	55,673,603
人件費	37,141,441	36,157,701	44,243,706
事業費	6,971,633	7,105,822	7,908,812
事務費	6,134,935	6,212,622	3,521,085
差額繰越金	692,649	-385,081	1,823,107

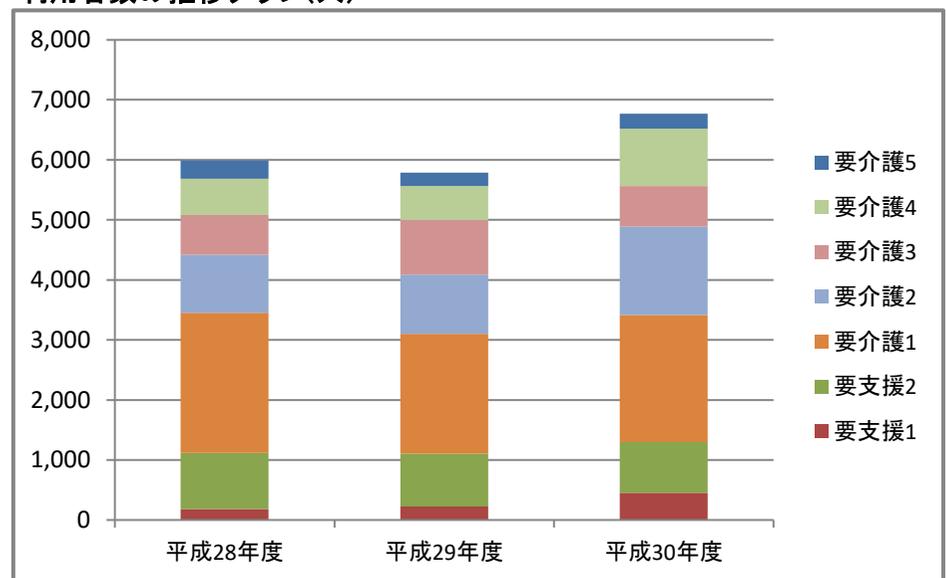
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要支援1	185	227	455
要支援2	933	881	843
要支援計	1,118	1,108	1,298
要介護1	2,335	1,993	2,117
要介護2	965	990	1,476
要介護3	664	905	672
要介護4	606	568	956
要介護5	302	221	251
要介護計	4,872	4,677	5,472
合計	5,990	5,785	6,770

利用者数の推移グラフ(人)

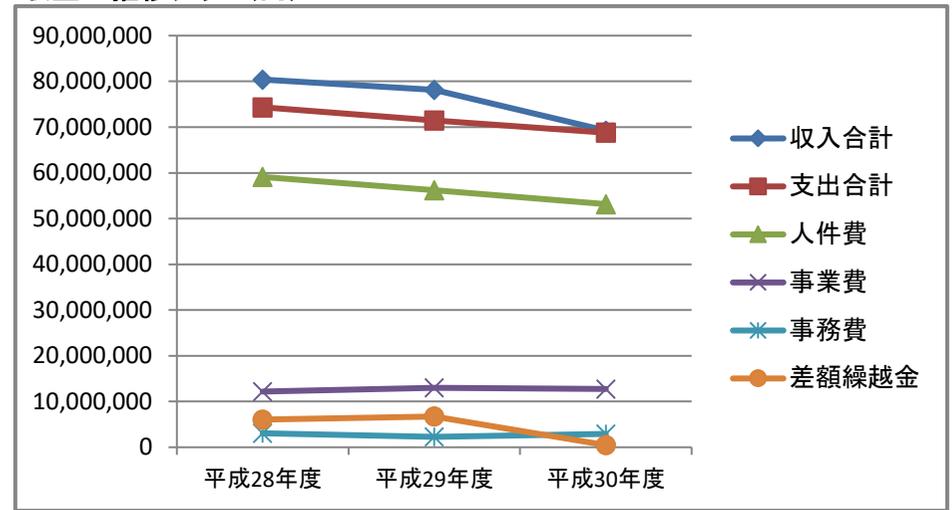


加治川デイサービスセンター事業報告書

収益の推移 (円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入合計	80,398,230	78,158,094	69,243,089
支出合計	74,338,860	71,443,461	68,781,728
人件費	59,104,017	56,181,459	53,155,459
事業費	12,180,102	12,992,057	12,718,683
事務費	3,054,741	2,269,945	2,907,586
差額繰越金	6,059,370	6,714,633	461,361

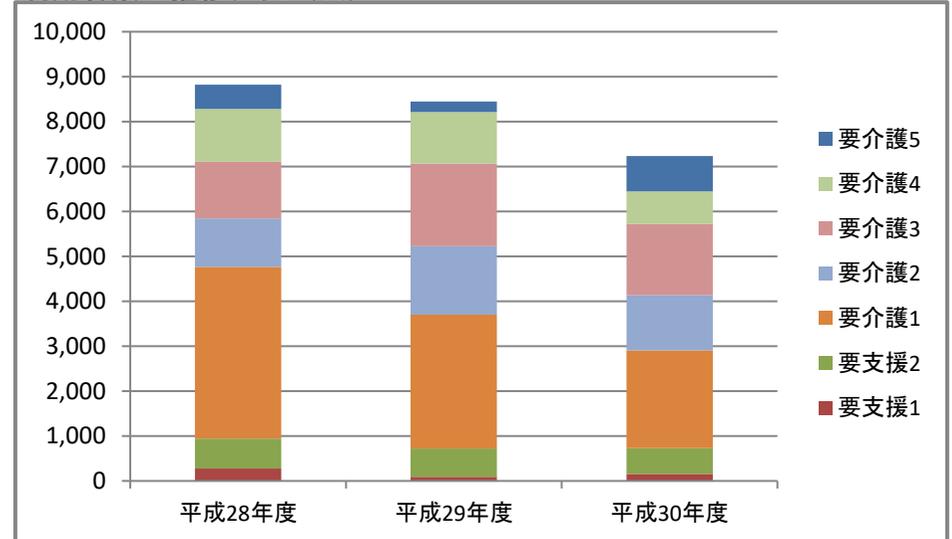
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要支援1	273	91	156
要支援2	671	631	577
要支援計	944	722	733
要介護1	3,822	2,977	2,175
要介護2	1,075	1,530	1,226
要介護3	1,265	1,835	1,590
要介護4	1,175	1,148	725
要介護5	540	230	787
要介護計	7,877	7,720	6,503
合計	8,821	8,442	7,236

利用者数の推移グラフ(人)



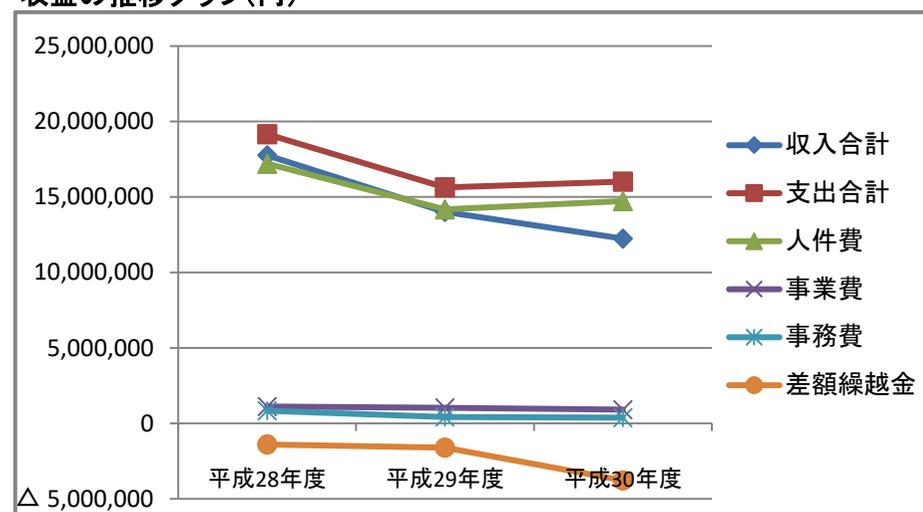
新発田市社協訪問介護事業事業報告書

収益の推移 (円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入合計	17,759,532	14,017,890	12,240,830
支出合計	19,158,362	15,631,644	16,016,620
人件費	17,206,492	14,178,963	14,723,887
事業費	1,116,497	1,023,302	912,445
事務費	835,373	429,379	380,288
差額繰越金	-1,398,830	-1,613,754	-3,775,790

*H28.5月に統合

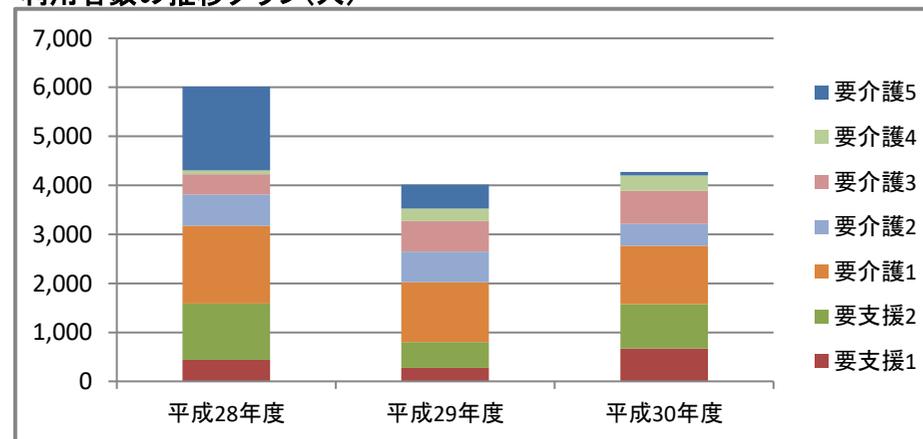
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要支援1	441	278	672
要支援2	1,150	526	906
要支援計	1,591	804	1,578
要介護1	1,583	1,220	1,188
要介護2	639	623	450
要介護3	417	623	672
要介護4	79	259	316
要介護5	1,710	488	69
要介護計	4,428	3,213	2,695
合計	6,019	4,017	4,273

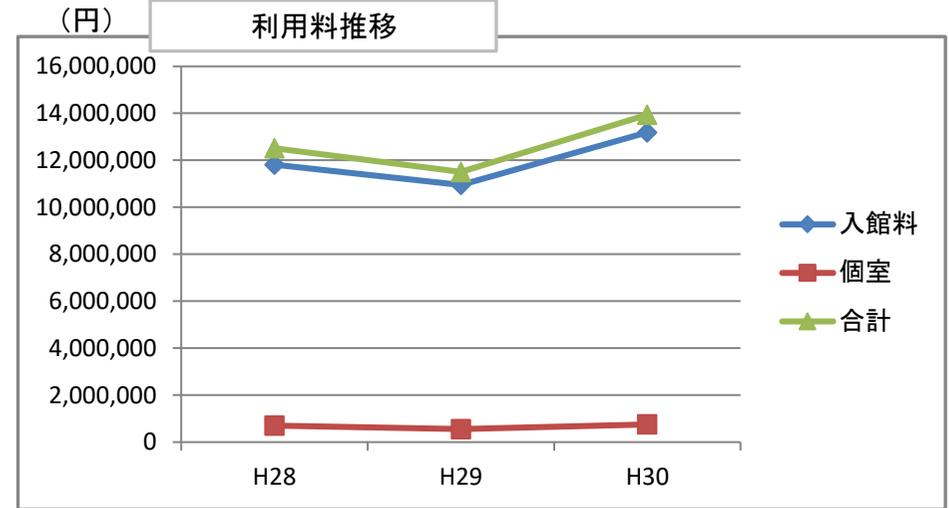
利用者数の推移グラフ(人)



新発田市豊浦福祉センター「ほうづきの里」

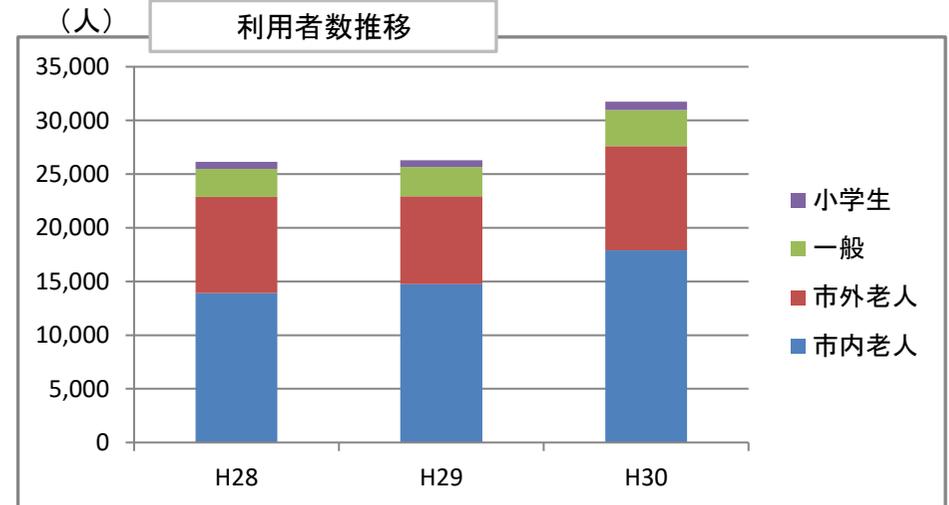
(円)

利用料推移			
区分	H28	H29	H30
入館料	11,818,990	10,949,190	13,189,330
個室	698,250	555,250	751,000
合計	12,517,240	11,504,440	13,940,330



(人)

利用者数推移			
区分	H28	H29	H30
市内老人	13,918	14,757	17,887
市外老人	8,955	8,192	9,719
一般	2,608	2,727	3,355
小学生	657	607	774
合計	26,138	26,283	31,735



個室利用数推移			
区分	H28	H29	H30
個室部屋数	576	528	608

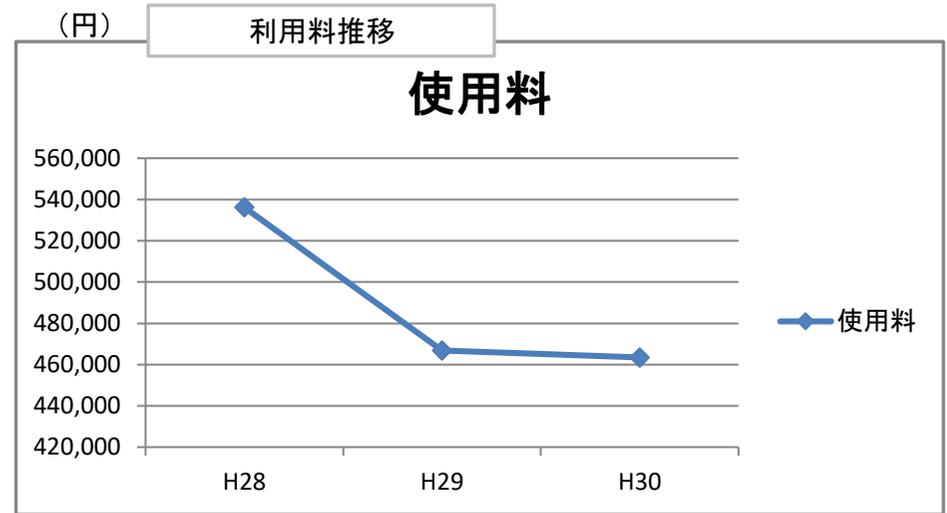
開館日数			
区分	H28	H29	H30
開館日数	311	268	312

新発田市紫雲寺老人憩いの家「眺海荘」

(円)

利用料の推移			
区分	H28	H29	H30
使用料	536,150	466,750	463,450

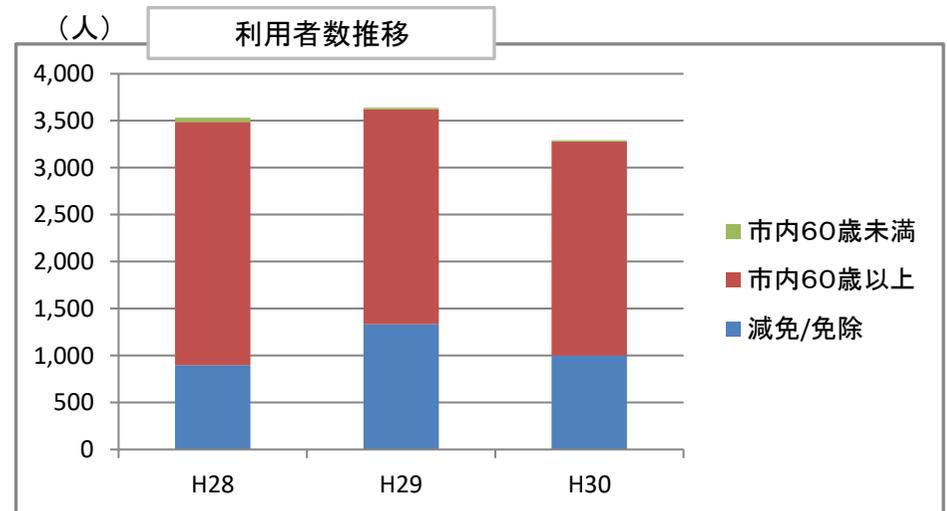
(円)



(人)

利用者の推移			
区分	H28	H29	H30
減免/免除	898	1,335	1,000
市内60歳以上	2,591	2,286	2,280
市内60歳未満	43	16	13
合計	3,532	3,637	3,293

(人)

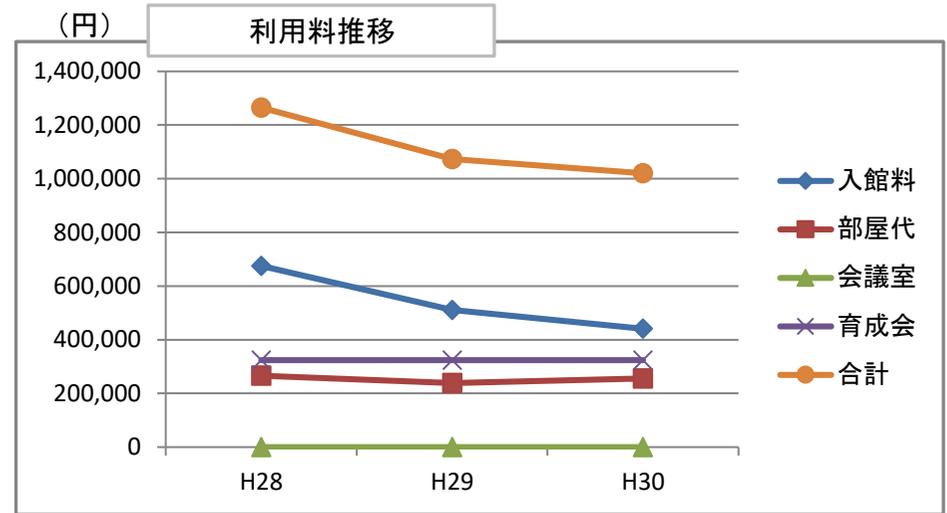


開館日数			
	H28	H29	H30
開館日数	302	303	305

老人福祉センター「金蘭荘」

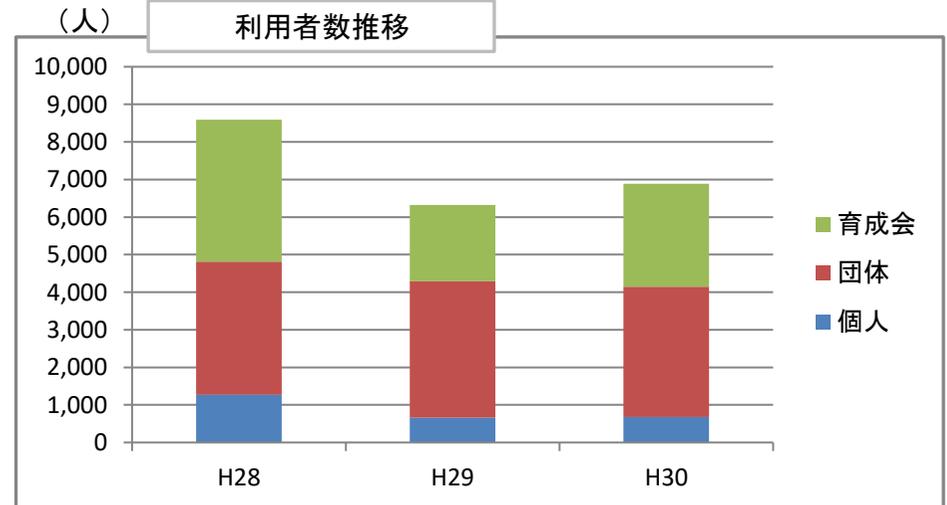
(円)

利用料の推移			
	H28	H29	H30
入館料	675,100	510,600	440,900
部屋代	265,900	238,600	255,400
会議室	0	0	0
育成会	324,000	324,000	324,000
合計	1,265,000	1,073,200	1,020,300



(人)

利用者の推移			
	H28	H29	H30
個人	1,270	663	680
団体	3,545	3,630	3,466
育成会	3,776	2,032	2,741
合計	8,591	6,325	6,887

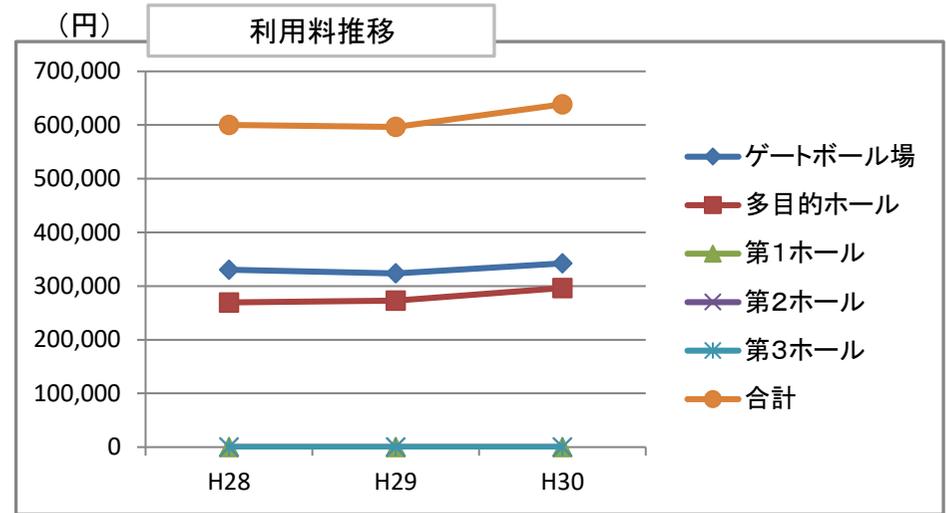


開館日数			
	H28	H29	H30
開館日数	293	293	294

高齢者レクリエーションセンター

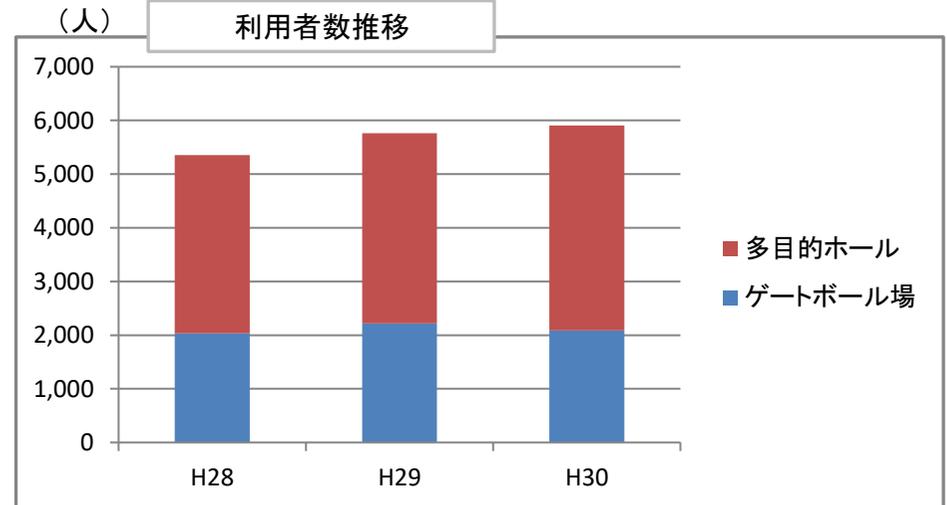
(円)

利用料の推移			
	H28	H29	H30
ゲートボール場	330,680	323,560	342,240
多目的ホール	269,540	272,880	296,420
第1ホール	0	0	0
第2ホール	0	0	0
第3ホール	0	0	0
合計	600,220	596,440	638,660



(人)

利用者の推移			
	H28	H29	H30
ゲートボール場	2,034	2,219	2,085
多目的ホール	3,320	3,544	3,824
合計	5,354	5,763	5,909

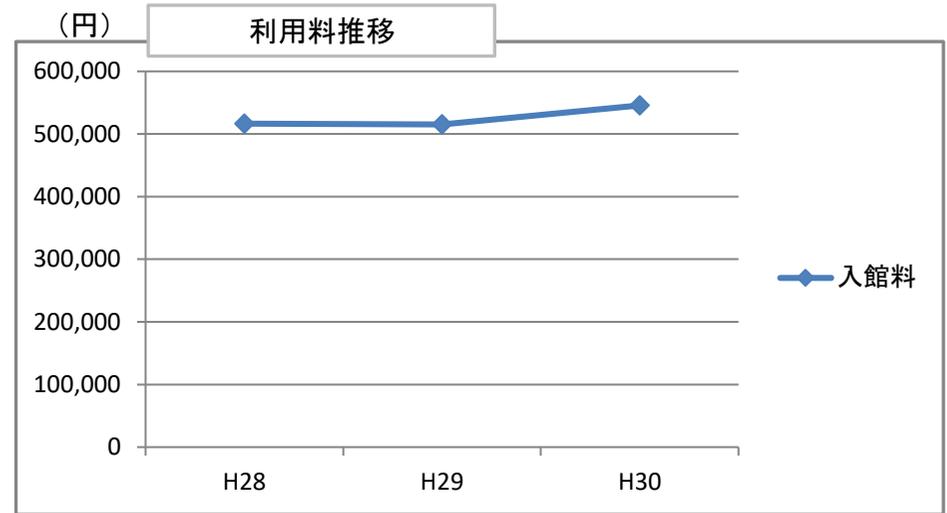


開館日数			
	H28	H29	H30
開館日数	293	293	294

加治川総合福祉センター「さくら苑」

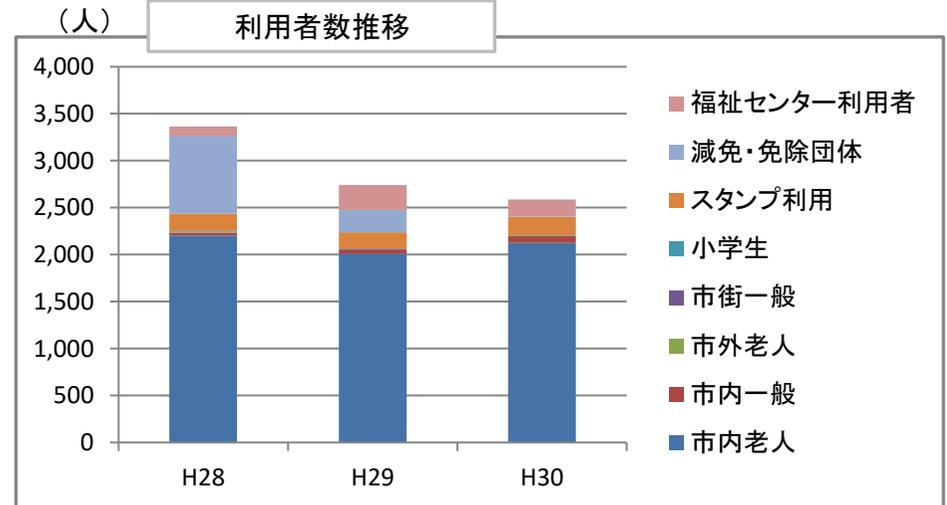
(円)

利用料推移			
区分	H28	H29	H30
入館料	516,700	515,232	545,632



(人)

利用者数推移			
区分	H28	H29	H30
市内老人	2,203	2,008	2,124
市内一般	32	47	72
市外老人	6	1	3
市街一般	4	7	5
小学生	5	4	3
スタンプ利用	188	169	195
減免・免除団体	829	237	6
福祉センター利用者	97	267	179
合計	3,364	2,740	2,587



開館日数

区分	H28	H29	H30
開館日数	307	308	306

平成30年度職員研修会等参加状況

1. テーマ別研修・専門研修(事務局)

月 日	研修の名称	参加人数
4月26日	平成30年度 共同募金新任職員研修	1
5月11日	平成30年度 県内社協(新任・初級)研修会	2
5月18日	障がいを抱えるお子さんへの支援を考える	1
5月24日	安全運転管理者等講習	1
5月28日	平成30年度 認知症ケア研修会	1
6月22日	東京都視察研修	6
6月23日	日本リビングウィル研究会	6
6月27日	平成30年度 生活福祉資金貸付事業担当職員研修	2
7月12日	関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	1
7月20日	神戸視察研修	3
7月29日	平成30年度 豪雪被災地支援者派遣	1
7月31日	安全運転管理者等講習	1
7月31日	平成30年度新潟県経営協セミナー(前期)	1
8月9日	精神保健福祉研修会	3
8月30日	平成30年度 高齢者虐待対応研修会	2
9月4日	防災ネットワーク新潟ブロック協議会	2
9月4日	広報研修会	1
9月6日	自殺研修会	2
9月13日	平成30年度 市町村社協地域福祉担当者研修	2
9月19日	平成30年度 成年後見制度市長村長申し立て推進研修会(基礎編)	2
9月27日	平成30年度 福祉職員キャリアパス対応研修～中堅コース～	1
9月28日	新発田まるごとネットワーク①	3
10月24日	高齢者支援に携わる関係者向けの自殺予防対応力向上研修	1
10月30日	新潟県民福祉大会	1
11月7日	平成30年度 新潟県地域づくりセミナー	2
11月7日	”くらしの足から地域を考える”地域づくり研修会	1
11月9日	平成30年度 若手社協職員の集いin南魚沼	3
11月10日	第5回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	1
11月12日	平成30年度 新潟県福祉サービス第三者記評評価講演会	1
11月16日	平成30年度 福祉相談員研修	1
11月19日	地域で支える送迎支援勉強会	3
11月22日	災害ボランティア担当者会議	2
11月22日	人権啓発講座	1
11月28日	平成30年度 成年後見制度市長村長申し立て推進研修会(応用編)	2
12月5日	生活困窮事業担当者学習会	2
12月8日	貧困研究会 第11回研究大会	1
1月11日	生活福祉資金貸付事業担当職員研修	1
1月25日	平成30年度 生活困窮者自立支援制度等従事者研修会	3
2月2日	ワーク&ライフセミナー	1
2月6日	企業CSR-CSV推進セミナー	3
2月8日	生活困窮地域連携研修会	3
2月19日	平成30年度 法人後見推進研修会	1

2月19日	平成30年度 新発田市ライフ・ワークバランスセミナー～働き方改革セミナー～	1
2月20日	平成30年度 新発田市生涯理解促進講演会	3
2月26日	災害福祉広域支援セミナー	2
3月6日	社連会県外研修(神奈川県)	1
3月7日	高齢者疑似体験インストラクター養成研修	2
3月7日	平成30年度 市長村社協経営基盤強化研修会	2
3月8日	引きこもり対策連絡協議会	1
3月12日	長野県視察研修	3
3月20日	新発田まるごとネットワーク②	3
3月28日	平成30年度 新潟県いのちとところを守る県民集会	1

2. テーマ別研修・専門研修(各事業所)

月 日	研修の名称	参加人数
4月17日	平成30年度 新発田地区居宅介護支援事業者連絡協議会 総会	1
4月26日	平成30年度 第1回介護支援専門員研修会	4
5月10日	平成30年度 介護予防・日常生活支援サービス事業従事者研修会	1
5月28日	平成30年度 認知症研修会 ～BPSD行動心理症状の軽減のために～	3
5月21日	平成30年度 地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	2
6月26日	平成30年度 第1回介護支援専門員研修会の追加研修	3
6月21日	平成30年度 第2回地域包括支援センター職員研修会(管理者研修)について	1
7月17日	平成30年度 介護支援専門員研修会	1
7月13日	平成30年度 フィジカルアセスメント研修～介護現場で生かすフィジカルアセスメント～	1
7月26日	平成30年度 学校及び社会福祉施設の行事に伴う食品取扱責任者衛生講習会	1
8月9日	平成30年度 新発田市認知症他職種協働研修会	2
8月10日	平成30年度 認知症研修会	1
8月20日	平成30年度 記録の書き方研修	1
8月21日	平成30年度 新発田市自立支援型地域ケア個別会議5回目	2
8月24日	安全運転管理者等講習	1
8月28～29日	平成30年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員研修	1
8月28日	平成30年度 気づく力研修	3
8月30日	平成30年度 高齢者虐待対応研修	5
9月5日	公正な採用選考と人権問題研修会	1
9月7日	平成30年度 アクティビティ・ケア研修会	1
9月11日	平成30年度 認知症ケア・対応研修	1
9月14日	新潟県介護支援専門員協会 アセスメント研修	4
9月20～21日	平成30年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	1
9月27日	介護予防・自立支援型地域ケア個別会議に伴う研修会	10
9月27～28日	平成30年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース	1
9月28日	新発田まるごとネットワーク主催勉強会 第1回「地域の相談支援機関を知る」	2
10月6日	認知症研修会「地域づくり研修会」	1

10月11日	平成30年度 訪問介護事業所集団指導	1
10月11日	平成30年度 通所介護事業所集団指導	4
10月11日	平成30年度 認知症キャラバン・メイト養成研修	3
10月13日	平成30年度 在宅・介護連携推進研修会 私たちの街で最期まで	1
10月24日	高齢者支援に携わる関係者向けの自殺予防 対応力向上研修	1
10月25日	平成30年度 新潟県介護支援専門員 実務研修 実習指導者事前研修	1
10月26日	平成30年度 高齢者虐待防止ネットワーク運営研修	1
11月1日	平成30年度 ケアプランチェック研修	3
11月6日	平成30年度 対人援助のためのファンリテーション	3
11月6日	新発田病院公開講座 医療安全研修会	1
11月7日	平成30年度 在宅医療・介護連携推進研修会	1
11月8日	「利用者の目標に合わせたDCでの支援」、「とようら訪問看護Sの緊急時訪問看護加算」説明会	1
11月8日	平成30年度地域子育て支援拠点担当者研修会	1
11月9日	平成30年度 若手社協職員の集い in 南魚沼 「連携・協働を紐解く」	1
11月14日	平成30年度 認知症サポート医・かかりつけ医フォローアップ研修「認知症ケア研修」	3
11月15日	平成30年度 社会福祉施設看護職員研修	3
11月19日	地域で支える送迎支援勉強会	3
11月27日	平成30年度 第2回新発田地区居宅介護支援事業者 連絡協議会研修会	1
11月28日	新潟県障害者リハビリテーションセンター 見学会	1
11月30日	平成30年度 ときネット研修会	3
11月13・14日12月4・5日	平成30年度 新潟県介護支援専門員専門研修(専門Ⅱ)	1
12月8日	認知症講演会～認知症当事者の思いから支援を考える～	2
12月13日	ケアパートナー新発田 事例発表会	4
12月19日	自立のための介護保険に関わる従事者研修	5
12月3・18・20・21日	平成30年度 新潟県介護支援専門員「更新研修」	1
1月16日	自立支援のための介護保険に関わる従事者研修	10
1月27日	平成30年度 新潟県かかりつけ医認知症対応力向上研修	1
2月1日	平成30年度 調理師再教育講習会	2
3月6日	北包括主催 男性介護者サロン「ほっこり」	1
3月9日	「在宅医療・介護連携における診療報酬と介護報酬」説明会	1
1月10,11,31日2月12,18,27,28日3月1日	平成30年度 新潟県介護支援専門員 再研修更新研修	1
3月11日	第4回新発田北地域在宅医療・介護の多職種連携の会「顔の見える会」	2
3月12日	平成30年度 新潟県生活支援体制整備アドバイザー派遣モデル事業報告会(情報交換会)	1
3月13日	平成30年度 認知症初期集中支援事業ケアマネジャー向け研修会	1
3月15日	寝たきりにならない秘訣 丈夫な骨を作ろう講演会	1
3月18日	第7回 北圏域ケアマネミーティング	1
3月22日	平成30年度 新発田中央・南包括圏域介護支援専門員研修会	1
3月26日	介護予防マネジメント研修会	1

◎職場内研修 各事業所において企画・実施

◎法人全体研修

月 日	研修の名称	参加人数
10月4日	『接客マナー研修』 講師:キャリアアドバンス 代表 岡田 美栄 様	午前 28 午後 22 計50
	午前と午後 同じ内容で開催	